

あしや子ども風土記

芦屋の地名をさぐる

町名のいろいろ（11）

13

芦屋の町名は、山と海の豊かな自然環境や、古代から現代にかけて起こったさまざまな出来事が、町名に受け継がれています。

由来を考えていくことで、人々の暮らしと町名の関わりや、地域の歴史や文化の再確認をすることができると思います。

茶屋之町

『芦屋村誌』一八八四年刊という本に、西芦屋・東芦屋・山芦屋・水車芦屋・茶屋芦屋・樋口芦屋・浜芦屋の七つの村を総称して芦屋村と記述されています。

茶屋之町の町名は、西国街道に隣接する茶屋芦屋により、昔の西国街道が芦屋に入り、阪神国道2号に交わる茶屋之町が形成されました。

街道は、人びとの生活に深くつながる大切な道で、たいへんにぎわいました。



国道2号沿いに建つ茶屋之町の碑



川西町にあった小出権重のアトリエ（現在、美術博物館に復元）

川西町

平田北町につながる川西町は、江戸時代の芦屋村のころは、松林や田畑が広がっていました。

大正時代から昭和の初めにかけて、緑地の中に広い敷地を持つ宅地の造成が行われ、住宅地になりました。

大正十五年（一九二六）に建てられた如來寺は、文化活動の場としても、親しまれました。

公光町

公光の町名は、謡曲『雲林院』の主人公の名前からつけられました。

公光町は、芦屋が精道村と



公光公園



大塚町の町並み

大塚町

町名につけられた大塚の小さな字は、芦屋村と呼ばれていたころ、田畑に必要な水を引くためのかんがい用の池があったのでつけられたようです。

大塚町は、大正時代の初めころ

は田畑と緑地が続いていました。が、終わりころには住宅地の造成が進み、住宅と商店のまちなりになりました。

電報電話局は昭和四年一九二

九に鉄筋コンクリート造りで新築されました。演劇などで知られた赤レンガ造りの寿劇場が大正十年に開館しましたが、昭和十年に火事で消失しています。

●平成九年に発行した「あしや 子ども風土記 芦屋の地名をさぐる」を紹介しています。

シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。

過払金請求(交渉・裁判)と任意整理は相談料・着手金ともに無料 広告

年中無休(土・日・祝) 平日は夜9時まで相談 弁護士による直接、個別面談 阪神西宮駅スグ

※140万円を超える過払金請求は、法律上、弁護士でないと代理できません。15年以上の長期にわたって取引されている方は、ご注意下さい。※完済後も10年以内なら過払金の請求ができます。

0120-86-3150 (予約制)

ひまわり法律事務所

検索

弁護士 4人 西宮

※携帯・パソコンのHPより24時間予約申込受付 ※弁護士費用・アクセスその他詳しくは

兵庫県弁護士会所属弁護士 上原 邦彦ら4名

〈過払い・任意整理についての〉

(平日は毎日午後6時から8時まで) 1人30分程度 前日までに予約

弁護士による電話無料相談 0798-37-0370 (電話相談専用)

阪神西宮駅えびす口北徒歩3分、国道2号線沿い、明治安田生命ビル8F(兵庫県西宮市和上町5-10)